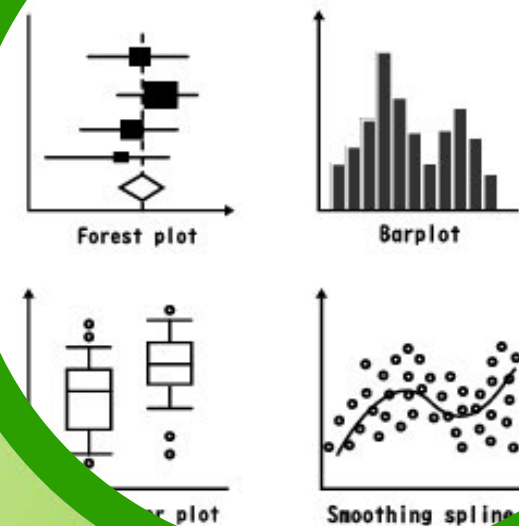


知統計

B.LEAGUEの公開スタッツから
上位へランキングするためのキースタツツを推定する

H2K合同会社

<http://www.h2k.jp/>



B.LEAGUEの公開データ

2

<https://www.bleague.jp/>

- 年度別、選手のStatsを公開

- データ（成績詳細）

- <https://www.bleague.jp/stats/?tab=1&year=2024&target=player-b1&value=AveragePoints>

- データ詳細

- <https://www.bleague.jp/glossary/>

- 年度別チーム順位

- <https://www.bleague.jp/standings/?tab=1>

2020年度から2024年度（現時点）の5年間の選手詳細、順位詳細データを用いて
各地区の上位チームと下位チームの間で
各選手のどのスタッツが有意に異なるのか探索

B.LEAGUEの公開データ

1. 選手スタッツ

3

SDGs等への取り組み

グッズ

パートナーシップ

ENGLISH

日程・結果

順位

成績

クラブ

選手

観戦

動画

イベント

B.LEAGUEについて

ライブ

選手

順位	選手	クラブ	試合数		プレイ時間		得点	フィールドゴール			2Pt			3Pt	
			G	GS	MIN	MINPG	PPG	FGMPG	FGAPG	FG%	2FGMPG	2FGAPG	2FG%	3FGMPG	3FGAPG
1	マーク・スミス #13 PG	長崎	11	11	347:30	31:35	21.3	7.1	17.4	40.8%	4.8	10.5	46.1%	2.3	6.9
2	ブロック・モータム #12 PF	滋賀	14	14	455:07	32:30	20.8	8.1	16.2	49.8%	6.8	12.5	54.3%	1.3	3.7
3	D.J・ニュービル #25 PG/SG	宇都宮	14	14	431:52	30:50	20.2	7.0	13.7	51.0%	3.9	6.4	61.1%	3.1	7.3
4	ロスコ・アレン #25 SF/PF	川崎	12	7	331:06	27:35	19.8	6.3	12.3	51.7%	4.8	8.3	58.6%	1.5	4.0
5	スコット・エサトン #43 C/PF	名古屋D	14	14	407:24	29:06	18.9	7.0	11.6	60.1%	5.9	9.4	63.4%	1.1	2.3
6	コティ・クラーク #1 PF	島根	14	0	354:45	25:20	18.6	6.1	11.9	51.8%	4.0	6.9	57.7%	2.1	4.9

- 延べ1,608選手のスタッツ
- 32項目のスタッツ

B.LEAGUEの公開データ

1. 選手スタッツ

スタッツ名		詳細
順位		
選手		
クラブ		
試合数	G	
	GS	
プレイ時間	MIN	プレイ時間
	MINPG	平均プレイ時間
得点	PPG	平均得点数
フィールドゴール	FGMPG	平均フィールドゴール成功数
	FGAPG	平均フィールドゴール試投
	FG%	フィールドゴール成功率
2Pt	2FGMPG	平均2Pシュート成功数
	2FGAPG	平均2Pシュート試投数
	2FG	2ポイントシュート成功率
3Pt	3FGMPG	平均3Pシュート成功数
	3FGAPG	平均3Pシュート試投数
	3FG	3Pシュート成功率

スタッツ名		詳細
フリースロー	FTMPG	平均フリースロー成功数
	FTAPG	平均フリースロー試投数
	FT	フリースロー成功率
リバウンド	ORPG	平均オフェンスリバウンド数
	DRPG	平均ディフェンスリバウンド数
	RPG	平均トータルリバウンド数
アシスト	APG	平均アシスト数
ターンオーバー	TOPG	平均ターンオーバー数
スティール	STPG	平均スティール数
ブロック	BSPG	平均ブロック数
	BSRPG	平均被ブロック数
ファウル	FPG	平均ファウル数
	FDPG	平均被ファウル数
貢献度	EFFPG	貢献度の平均
	+/-	その選手が出場していた時間帯のチーム全体の得失点差

B.LEAGUEの公開データ

<https://www.bleague.jp/>

5



SDGs等への取り組み | グッズ | パートナースHIP | ENGLISH

日程・結果 | 順位 | 成績 | クラブ | 選手 | 観戦 | 動画 | イベント | B.LEAGUEについて

東地区

順位	クラブ	勝	負	勝率	差	得点	失点	得失点差	ホーム (W-L)	アウェイ (W-L)
1	 千葉ジェッツ	12	2	.857	--	1171	1019	152	7-0	0-0
2	 宇都宮ブレックス	12	2	.857	0	1150	1053	97	5-0	0-0
3	 群馬クレインサンダーズ	8	6	.571	4	1111	1021	90	6-2	0-0
4	 秋田ノーザンハピネッツ	7	7	.500	5	1035	1050	-15	3-3	0-0
5	 レバンガ北海道	5	9	.357	7	1025	1124	-99	3-4	0-0
6	 仙台89ERS	4	10	.286	8	1040	1109	-69	2-6	0-0
7	 越谷アルファーズ	3	11	.214	9	979	1143	-164	2-5	0-0
8	 茨城ロポッツ	3	11	.214	9	1036	1204	-168	2-7	0-0

上位

下位

- 2022, 2023, 2024年度（3地区）は上位2チーム、下位2チーム
- 2020, 2021年度（2地区）は上位3チーム、下位3チーム

解析方法

- ロジスティック回帰モデルを用いた評価
 - 目的変量
 - 上位 vs 下位
 - 説明変量
 - 32項目のスタッツのうち下記のものを除いた
 - 選手名、クラブ名、貢献度（貢献度は複数のスタッツからの計算値のため）
 - 変数減少法による説明変量の選択
 - 背景調整のため次の変量を強制投入
 - 試合時間、ポジション

解析結果

上位チームと下位チームとの間で有意差のあるスタッツ

7

スタッツ		ロジスティック回帰解析結果			
		修正オッズ比	95%信頼区間		P値
			下限	上限	
Intercept	定数項	0.52	0.29	0.95	0.0322
FG	フィールドゴール成功率	25.96	2.26	297.67	0.0089
2FG	2ポイントシュート成功率	1.28	0.23	7.02	0.7787
3FGMPG	平均3Pシュート成功数	2.08	1.54	2.82	p<0.0001
3FG	3Pシュート成功率	0.63	0.19	2.12	0.4589
TOPG	平均ターンオーバー数	0.49	0.36	0.68	p<0.0001
BSPG	平均ブロック数	2.32	1.24	4.33	0.0085
BSRPG	平均被ブロック数	0.27	0.10	0.73	0.0098
FPG	平均ファウル数	0.69	0.53	0.90	0.0063
MIN	背景調整（試合時間）	1.01	1.00	1.01	0.2114
PG	背景調整（ポジション調整）	1.46	0.98	2.18	0.0611
PF	背景調整（ポジション調整）	1.44	0.97	2.12	0.0679
SG	背景調整（ポジション調整）	1.19	0.84	1.68	0.3332
SF	背景調整（ポジション調整）	0.97	0.66	1.42	0.8763
C	背景調整（ポジション調整）	1.10	0.67	1.80	0.6974

■ は上位チームが有意に上回るスタッツ（良い方向に働くスタッツ）

■ は下位チームが有意に上回るスタッツ（悪い方向に働くスタッツ）

解析結果

上位チームと下位チームとの間で有意差のあるスタッツ

スタッツ		ロジスティック回帰解析結果			
		修正オッズ比	95%信頼区間		P値
			下限	上限	
Intercept	定数項	0.52	0.29	0.95	0.0322
FG	フィールドゴール成功率	25.96	2.26	297.67	0.0089
2FG	2ポイントシュート成功率	1.28	0.23	7.02	0.7787
3FGMPG	平均3Pシュート成功数	2.08	1.54	2.82	p<0.0001
3FG	3Pシュート成功率	0.63	0.19	2.12	0.4589
TOPG	平均ターンオーバー数	0.49	0.36	0.68	p<0.0001
BSPG	平均ブロック数	2.32	1.24	4.33	0.0085
BSRPG	平均被ブロック数	0.27	0.10	0.73	0.0098
FPG	平均ファウル数	0.69	0.53	0.90	0.0063

- 上位チームのフィールドゴール成功率は、下位チームより有意に多い。下位チームの25.96倍。
- 上位チームの平均3Pシュート成功数は、下位チームより有意に多い。下位チームの2.08倍。
- 上位チームの平均ブロック数は、下位チームより有意に多い。下位チームの2.32倍。
- 上位チームの平均ターンオーバー数は、下位チームより有意に少ない。下位チームの0.49倍。
- 上位チームの平均被ブロック数は、下位チームより有意に少ない。下位チームの0.27倍。
- 上位チームの平均ファウル数は、下位チームより有意に少ない。下位チームの0.69倍。

解析結果

尤離度分析：どのスタッツが効いているか

項目		寄与率
FG	フィールドゴール成功率	13.5%
2FG	2ポイントシュート成功率	1.1%
3FGMPG	平均3Pシュート成功数	6.6%
3FG	3Pシュート成功率	0.2%
TOPG	平均ターンオーバー数	53.6%
BSPG	平均ブロック数	6.0%
BSRPG	平均被ブロック数	9.9%
FPG	平均ファウル数	7.3%

ダントツに
平均ターンオーバー数
が効いている

解析結果の利用例

上位進出に不可欠な選手とそうでない選手

2023年度 横浜BCの選手に「上位貢献スコア」の予測値をつけた
(解析者が横浜地区の高校のバスケ部出身のため)

Player	Pos	FG	2FG	3FGMPG	3FG	TOPG	BSPG	BSRPG	FPG	スコア
ジェロード・ユトフ	PF	0.433	0.533	1.9	0.3	1.2	1	0.2	1.3	2.1134
大庭 岳輝	SG	0.367	0.667	1.1	0.3	0.3	0	0	0.3	1.2230
ジョシュ・スコット	PF/C	0.516	0.519	0	0.3	0.5	0.8	0.4	1.6	0.9507
杉浦 佑成	SF	0.394	0.464	1.2	0.4	0.4	0.1	0.1	1.2	0.8337
キング 開	PG/SG	0.366	0.395	0.9	0.3	0.6	0.2	0.2	1.8	0.7871
カイ・ソット	C	0.577	0.586	0.1	0.3	0.9	1.1	0.5	2.1	0.4165
須藤 昂矢	SG	0.381	0.449	1.3	0.4	0.6	0	0.2	2.6	0.3059
デビン・オリバー	PF/SF	0.446	0.516	1.1	0.3	1.4	0.2	0.4	2.3	0.0466
松崎 裕樹	SG/SF	0.245	0.359	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.8	0.0441
田中 力	PG	0.321	0.455	0.1	0.1	0.4	0	0.2	1	0.0156
西野 曜	SF	0.435	0.512	0.1	0.1	0.7	0.2	0.2	1.5	-0.1867
森井 健太	PG	0.339	0.543	0.3	0.3	0.8	0	0	2.4	-0.2005
河村 勇輝	PG	0.416	0.503	2.4	0.3	3.3	0.1	0.6	1.6	-0.4342

上位進出に不可欠な選手とそうでない選手

2023年度 横浜BCの選手に「上位貢献スコア」の予測値をつけた
(解析者が横浜地区の高校のバスケ部出身のため)

- ジェロード・ユトフ選手が貢献度スコアが高い
 - 2024年に移籍
- 河村勇輝選手の貢献度スコアが低い
 - 試合時間が長く、ターンオーバー数が多い
 - チーム事情？
 - ポジションがPGのみ
- 貢献度スコアの合計が高くなるようにチームを作る
 - 2023年のスコア合計が5.92に対して、
2024年はこれまでのところ0.98
 - このままでは上位へランキングすることは難しいか

考察：三遠ネオフェニックス

年度	Region	順位	勝	負	勝率	得点	失点	得失点差	ホーム (勝-負)	アウェイ (勝-負)
2024	中地区	1	12	2	0.857	1291	1094	197	6-1	6-1
2023	中地区	1	46	14	0.767	5371	4749	622	26-4	20-10
2022	中地区	6	23	37	0.383	4725	4914	-189	9-21	14-16
2021	西地区	11 (11チーム中)	10	48	0.172	4455	5134	-679	5-24	5-24
2020	西地区	9 (10チーム中)	12	47	0.203	4466	5147	-681	7-23	5-24

牛尾氏が三遠ネオフェニックスへ参画、代表取締役社長在任期間

- 最下位のチームがわずか3年でトップチームへ
- 大きく変化したスタッツは何か

考察：三遠ネオフェニックスで変化したスタッツ

スタッツ		平均（標準偏差）		検定P値 ($p < 0.2$)
		2020-2022年度 (順位が低い)	2023-2024年度 (順位が高い)	
PPG	平均得点数	6.0(5.23)	7.8(5.50)	0.1933
FG	フィールドゴール成功率	0.4(0.14)	0.5(0.10)	0.0088
2FG	2ポイントシュート成功率	0.4(0.15)	0.5(0.15)	0.0074
3FGMPG	平均3Pシュート成功数	0.6(0.61)	0.9(0.83)	0.0499
3FGAPG	平均3Pシュート試投数	1.7(1.69)	2.6(2.10)	0.0815
3FG	3Pシュート成功率	0.2(0.16)	0.3(0.16)	0.1022
FTMPG	平均フリースロー成功数	0.8(1.02)	1.3(1.36)	0.1969
FTAPG	平均フリースロー試投数	1.2(1.30)	1.8(2.08)	0.1912
ORPG	平均オフェンスリバウンド数	0.7(0.74)	0.9(0.80)	0.1936
EFFPG	貢献度の平均	5.7(6.50)	8.9(7.49)	0.0904

多変量解析で挙げた上位チームに必要なスタッツ

考察：三遠ネオフェニックス変化したスタッツ

良い方向に変わったスタッツ

- シュート数
- シュートの成功率
- オフェンスリバウンド数

3年間で
約10ポイントUP



年度	上位貢献スコア チーム合計
2020	-4.00
2021	-0.71
2022	1.99
2023	8.10
2024	8.09

- 上位スコアを3年で10ポイントUPさせた
 - 上位チームの平均スコアは5.54ポイント

牛尾社長が注目した戦術・練習のポイント（推測）

- シュートをうつ機会を増やすためには
- シュートの成功率を上げるためには
- リバウンドをとるためには



どんな戦術・練習が必要か
考えてきたのではないか

英知統計

H2K合同会社（エイチツーケイ）

東京都新宿区西新宿 6 丁目 5 - 1 新宿アイランド タワー2階
大阪府大阪市中心区北久宝寺町4丁目2番10号 東明ビル5階

代表：上辻 茂男 (sh.kamitsuji@h2k.jp)

CEO：上田 明浩 (ak.ueda@h2k.jp)

- (1) 自治体等の統計調査及びコンサルティング事業
- (2) 大学、民間企業向けの医療に関する統計調査及びコンサルティング事業
- (3) 研修、セミナー等の企画、立案、運営及び管理
- (4) 大学及び民間企業の研究に関するマッチング事業
- (5) 民間企業、官庁の仲介及び補助事業等のサポート業務
- (6) コンピュータシステムの企画、開発、販売及び保守

